



看護師20年・3人の子育てお母さん

藤田りょうこ

日本共産党都議予定候補 事務所ニュース

No. 5 2016年9月27日

「大田区内の保育施設で起きた 死亡事故を重く受け止め、対策を」



9月23日、東京都に「保育園問題」で申し入れをする、「死亡事故を考える大田の会」とから・あぜがみ両都議。中央、申し入れる藤田候補。

9月23日（金）、藤田りょうこ都議予定候補が代表を務める「保育施設での死亡事故を考える大田の会」は、東京都に申し入れを行い、と東京都に申し入れを行い、

保育施設の情報が公開、指導強化、立ち入り調査体制の強化、死亡事故を起こした園の閉園命令、審査会の開催、などを求めました。

藤田りょうこ
都議予定候補

「今年3月大田区の認可外保育園で、生後6か月のお子さんをなくされたご遺族も同席しました。ご遺族は、事故当時の状況やさまざまな保育環境を涙ながらに語り『事故ではなく事件だと感じるほどです。都としてしっかり調べてほしい』と訴えていました。」



この事故を起こした保育所は、何年にもわたり有資格者がいないなど改善指導を受けていたが、改善されず死亡事故が起こりました。ようやく改善勧告を受け、自主閉園するとしていますが、いまだに数名のお子さんが預けられています。

基準が緩い認可外保育園への東京都の指導・援助は、待ったなしです。早急な対応を求め、今後も運動を広げていきます」。

「夜間定時制の存続を求めるつどい」（9月22日）にて。



大田民報

2016年9月号外
大田民報社 北馬込1-4-12 佐藤方

日本共産党大田地区委員会の見解を紹介します。

連絡先

〒144-0051 東京都大田区西蒲田6-34-7
Tel 03-3736-1494 Fax 03-3735-4522
URL <http://r-fujita.jcp-ota.jp/>
Mail r-fujita@jcp-ota.jp

藤田りょうこさんを何としても都議会へ

日本医労連執行委員長

中野千賀子

わたしも応援します！

藤田りょうこさんとは、早いものでもう15年くらいのお付き合いでしょうか。お互いに看護師の労働組合役員として頑張ってきました。年齢はりょうこさんの方がずいっと若いですが（笑）。

夜勤が多く疲れきっている看護師の働き方を少しでも改善したい、そのことが患者さんに安全・安心の医療・看護を提供することにもつながるという思いで、病院の違いを超えて学習したり、署名・宣伝行動など積極的に取り組んできました。ここで頑張ってきた力、仲間の多さは、これからの議員活動にも間違いなく活かされます。

りょうこさんは若い！行動力がある！そして、看護師としても培ってきた共感力がある！これとってとっても大事なことです。と思います。また、3人の子ども



「医療国際シンポジウム」にて。右が中野さん

を育てながら働いてきたので、ママ・パパの大変さも良くわかっている。まさに「議員として頑張ってほしい人」です。

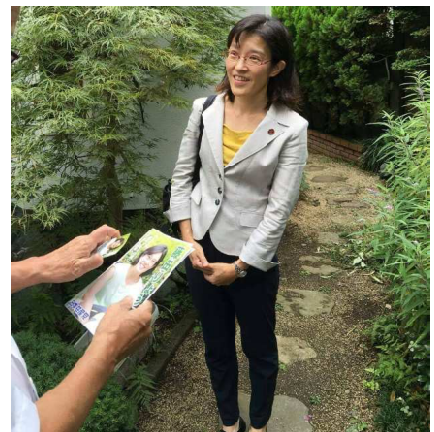
今、医療・介護などみんなが充実を願う社会保障が大きく壊されようとしています。こんな時だからこそ看護師として頑張ってきた、りょうこさんが都議会で力を発揮してほしい！

「いのちと暮らしまもる」ために私も応援します。

《今週の主な日程》

※宣伝は雨天中止（又は変更）の場合有

- 27日（火）午前 雪谷地域で宣伝カー
午後 都保育支援課との懇談
午後5時～「大岡山スタンディング・リレートーク」
- 28日（水）朝宣伝 池上駅
午後 都議会本会議傍聴
- 29日（木）朝宣伝 7時30分～8時
久が原駅



9月24日（土）、挨拶訪問をする
藤田りょうこ都議予定候補

〈藤田りょうこ〉成長記⑤

家から一番近いということで調布幼稚園に入園しました。はじめは送って行きましたが、子どもだけの通園も認められています。それではと何日か練習し、いよいよ一人で行く日が来ました。通りに出て、「お母さんはここまで」

ここから一人でいってごらんと行って。も本人は「いけない」の一点張りです。私も意地になり、しばらく押し問答した後で諦めたのか後ろを振りかえりながら泣き泣き出かけました。

今度は帰ってくるまで心配です。ガラガラと玄関を開けたとたんに大きな声で「ただいま！ひとりで行けたよ！」という自信に満ちた声が返ってきました。

（母 沢井正代）



4歳、幼稚園の遠足。最左がりょうこ、その上がおばあちゃん。